

「漢方診療のすすめ」

～総合診療科の漢方外来～



貝沼茂三郎醫師

漢方医学は約200年前に中国で生まれましたが、その後日本に伝えられ、日本国内の風土や気候、日本人の体質やライフスタイルに合った日本独自の形に発展し、確立していった、いわゆる「日本の伝統医学」になります。漢方薬の中で最も有名な葛根湯（かつこんとう）〔図1〕なども2000年前に書かれた書物に記載されています。

貝沼茂三郎医師は實効の一つ一つ然物のこす。またの生葉は根や木皮の實や草などから成り立つますが、中には鉱物由來の生葉なあります。例えば根湯は葛の根つゝ皮（シナモノ）、皮の根、生姜などて生葉の組み合わせをきています（図2）。人間には本来自病気を治す力、すち自然治癒力があります。例えば転んがをしても自然と（けつべい）血ができる塊（くず）

では、望圖3。そのバラでよ。しかしさまざまの自然治癒法がある。つまり、自分の体の「切」と「切」を切ることで、自然治癒が可能となる。しかし、この方法は、必ずしも効果があるわけではなく、必ずしも効果がないわけでもない。そのため、この方法を試してみるのも一つの手段である。

現方治療法による満足な治療を得られます。これお答えの方は、漢方教育なります。漢方教育なります。漢方教育なります。

療がおえしままで、治療だけがいくつも受けられないのです。

すとたたかれた先生が、その症候をうながすと、医学部で使いましてのうに加えられていまでは、先生は

すからたくさんませんとしない少ないと方薬をギーの急足する

【図4】漢方薬はとん

葉も薬用が主である。しかし、薬に比して、症状が非常に悪化する。

- 1) 西洋医学的な診断がつかない
- 2) 診断はつくが十分な治療手段がない

2) 診断はつかうが、十分な治療手段剤過敏など。

3) 治療方法はあるが、副作用や
患でステロイド服用中の方や

4) 多くの病気を同時にかかえて

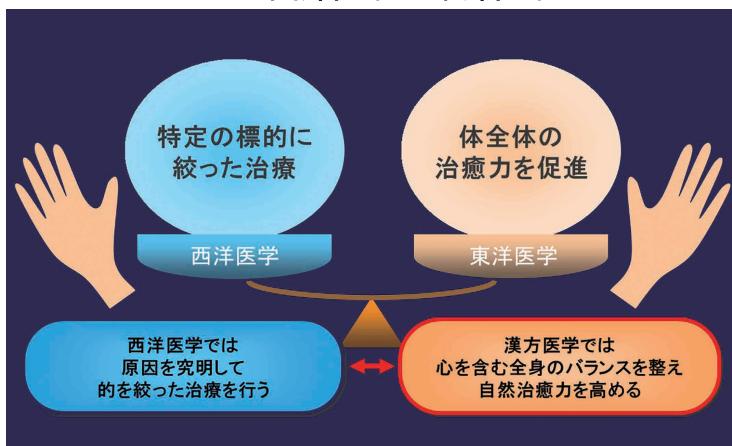
【図1】葛根湯



【図2】 葛根湯の成分



【図3】 西洋医学と東洋医学



【図4】漢方薬はどんな時に良いの？

- 1) 西洋医学的な診断がつかない、虚弱体質や冷え性など。
 - 2) 診断はつくが十分な治療手段がない、ウイルス性疾患や薬剤過敏など。
 - 3) 治療方法はあるが、副作用や過敏症がある、さまざまな疾患でステロイド服用中の方やアレルギーの方など。
 - 4) 多くの病気を同時にかかえている高齢者の方。